

次第

- 令和6年度 第4回 富士見町地球温暖化対策推進委員会 -

日時：令和6年12月26日（木）

13：00～15：00

場所：富士見町役場 301会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

（1）区域施策編策定事業の進捗説明

①全体構成

②施策

③独自KPI

（2）各分科会の提言

（3）意見交換

（4）その他

4. その他

5. 閉 会



議事録

■ 区域施策編の構成、全体を見渡した意見（印象）

- ・ 富士見町将来像オリジナルのイラスト入れ分かりやすい表現へしたい。3章目指す将来像若しくは表紙へ。
- ・ 国の政策で進むもの、県の政策で進むもの、町、あるいは町民、事業者の自主的な努力で積み上げる目標が、それぞれの施策でどれだけ関わってくるのか分かり易く表示してほしい。

⇒P57 KPI（進捗管理指数）で示す予定

- ・ CO2排出の試算は、どうしても試算の方法が按分という形でしか積み上げとすることは難しく、ほぼ不可能に近い。結果的に全体の数値の減少は案分方式で追ってくしかない。
- ・ また提案数の電気使用量については中電に確認することで教えてくれる。毎年個別の施策でどのくらい減ったかまではわからないが、大枠の中で町全体で電気使用量がどのくらい減るのかは把握できる。
- ・ P26脱炭素シナリオの部分は県ロードマップと町としての上乗せ部分を分かり易く書き分けてほしい。
- ・ 計画の所で色々施策が上がっているが、県や国がやっている施策と、富士見町がやっていくことの明確化（新築部門は国がしっかりやっているが、改修については町がしっかりやっている、というような分かり易さが欲しい。）
- ・ フラグシッププロジェクトみたいな感じで分かり易く最初に記載してみてもどうか。フラグシッププロジェクトとそれ以外の町が中心となってやるものを書き分けることで具体的にやることが見やすくなる。

議事録

・富士見らしさを出すために、寒冷地の特徴から断熱が効くことや、日照時間の長さから太陽光発電と太陽熱温水の利用、断熱、森林の有効利用を盛り込むと「らしさ」が出ると思う。

・P26脱炭素のシナリオに係るところで再エネの枠はある程度限られる。EV、FCVは再エネを使って初めて削減できるが目標値とした数値の根拠は。

⇒シナリオの目標値は国や長野県のロードマップから試算している。未来を想定するのは難しいが、数値としては県の数値を利用している。

・輸送部門でのCO2は20%と書いてあるが、現実的に出来るのか。EV化以外でできるものは？「すべてを」と書いてあるがトラック等もEV化できるものなのか？無理な施策ではなくできることから書いてもらう方が良いのでは。

BAUと目標の間に削減があると思うが、現時点で作るしかないかなと思っている。2030,2040,2050年とある中で最新のデータに見直す必要があるので、徐々により良いものへアップデートしていく。

⇒このような書きぶりでもいいのでは。

・達成すべき目標の2030年47%目標が県より低くてよいのか？

⇒富士見の按分推計から（人口、車の台数等）から試算すると若干ずれる。ビジョンは同じ数値を使っているが、部門別のウエイトが違っており、富士見町は県と比べて産業部門が高く削減効果に繋がっている。部門別の推計は大きく違わないが全体で見た時に数字の整合が取れないところが出てきていると思う。シナリオについては県と同じ計算で行っている。

・上記の説明書きを入れるべき。

■取り組みについて

・バイオマスに関して、時間軸を入れて重点施策ですぐできる森林資源を入れたい。観光にも。長期的な施策と短期的な施策とを描き分けたほうが良いのでは。箇条書きではなく、肉を着けて、「何をどうやって」をわかりやすく。

議事録

- ・緑カーテンの普及はいらないのでは？
- ・商工会を通じた学習会から省エネ診断へ繋げる施策を得だしのような形で描きつつ、省エネされた実績（削減効果）も追いかけるような書き方かどうか。
- ・フラグシッププロジェクトの中にぜひ勉強会をしてその後省エネ診断に繋げ、見える化に繋げ、さらには省エネの設備を入れるための補助金、（国・県のものもあり）その活用もあると思うので、各分科会のところは方策を推進する背景と、政策全体の体系的なパッケージにし、こんな方向性に持ってきたいっていうところを書かれるといいと思う。
- ・若干の年限スケジュールも入れるようなら入れたい。
- ・町の政策の中で、国や県がやってるものを周知するというものと、町が具体的に補助金や技術支援するものと大きく二つに分かれると思うが現状「普及促進、導入支援、利用促進」など、ふわっと書かれているため、すでに国や県がやっていて情報共有がわかっているところはハッキリ書く。
- ・「おらほー！富士見の元気ショップ」など固有名詞が書かれているが、あまり限定しない方がよい。
- ・P40「環境認証等活用支援」は削除
- ・「富士見らしさ」から引き継いでいるのはこの施策です。など紐づけた方が今まで議論したものがキャッチできると思う。色分けしてもいい。富士見らしいビジュアルに変更を。
- ・クローズアップする所を分かり易く。
- ・計画としての資料の見せ方と町民に向けた見せ方は分けて考えた方がよい。
- ・P44農業者への支援（富士見町認定、認証農業者補助制度「等」）を付け加えてほしい。

■KPI計画の進行管理、指標を見るための方法を意見

- ・施策のところでは農業が出てきているが、事業の所で農業が出てきていないので、記載して欲しい。

議事録

- ・ 農業者への支援はふわっとあるが、例えばバイオ炭があるので取り組みを学んでいくとか、メタンを出さない農業のやり方などの学習、支援を記載。
 - ・ ハウスにおけるエネルギーを使っているところが多いが、第3者設置型のバイオボイラー、例えばPPA方式のような第三者設置がバイオマスボイラーみたいなところを大規模な農業法人等が検討いただくのはあるかと思う。また、太陽光を設置することもあるかもしれないのでちょっとフラットな農業支援ではなくてCO2削減や温室効果ガス削減に資することを少し入れてみてはどうか。
 - ・ 町内のバイオマスのチップ供給の仕組み
 - ・ 断熱改修の学習を何回やるかなど。
 - ・ 太陽熱温水器があっても良い。窓の断熱改修の数値等。
 - ・ 行動を起こすための提案書だと思うので、認知、行為をもって行動が必要になると思う。温暖化の影響を知って行為に移ると思うので住民への広報を町にしてもらいたい。
 - ・ ウォークアブルな取り組みの中に区との繋がりを入れて移動手段を考えるべきでは？
- 適応策の所、土砂災害の重要性⇒森林整備、開発の危険性を書いた方がよい。
- ・ 雨水貯留槽新設施設は都会的だと思う。
 - ・ 事業者同士の交流ができる場を与えてほしい。
 - ・ バイオマスに農業委員も来てほしかった。
 - ・ 業者間の連携が大切なので、一文入れて欲しい。
 - ・ 横文字とローマ字が多いため、日本語に直せるのか、そうでなければ注釈を入れるなどしてほしい。

